



子育ての悩みを直接お母さんたちからアンケートを取り都議会に反映してきました。

和泉なおみ都議は、定例都議会のたびに文書質問をおこなっています。

文書質問は、本会議質問に準ずる都議会議員

の大切な活動です。

和泉なおみ都議が2

018年(平成30年)

に行った文書質問のう

ち、地元葛飾区にかか

わりの深いものを紹介

します。



文書質問趣意書

(1) 中川・綾瀬川流域の水害対策を強化せよ (2018年3月)

(2) 京成押上線連続立体化による高架下の利用について (2018年9月)

(3) 水元公園の噴水再開と菖蒲田の改善をもとめる (2018年6月)

(4) 森永乳業(奥戸1丁目)工場跡地を区と協力して取得すべき (2018年12月)

# 和泉なおみ

日本共産党都議会議員

## くらし・福祉の都政めざし

### の都政報告

#### 文書質問特集



日本共産党都議回報告 2019.1

葛飾版

発行：日本共産党東京都議会議員団  
新宿区西新宿 2-8-1 ☎(5320)7270

(都政へのご意見、ご要望をお寄せください)

## 森永乳業(奥戸1丁目)工場跡地を区と協力して取得すべき (2018年12月)

ことし2月、奥戸1丁目の森永乳業東京工場が2021年3月をもって生産を停止すると発表しました。

森永乳業はまだ工場跡地を売却するかどうか態度を明らかにしていませんが、売却される可能性は高いと思われます。

工場敷地面積は6haあります。

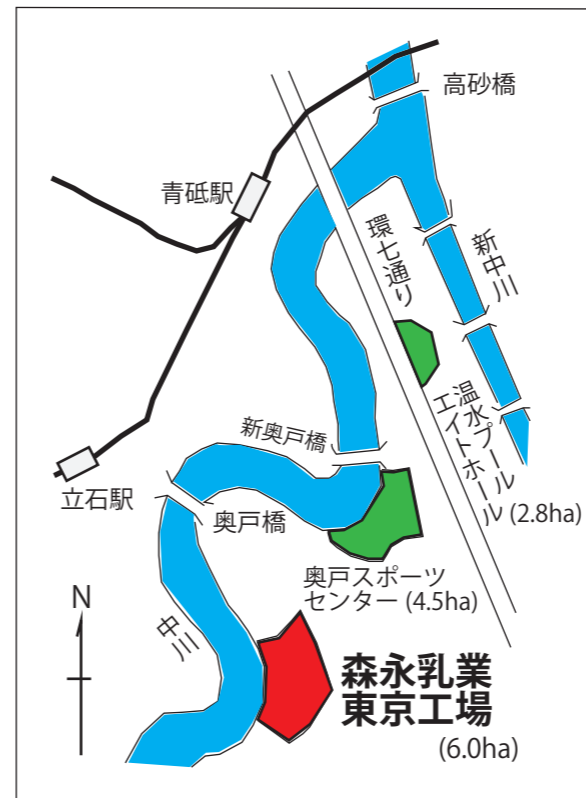
葛飾区で、これから既成市街地の中

に、これだけの空地が生まれることはもうない、と考えられます。

葛飾区は「区のまちづくりを進める上で貴重な資源である」との立場で土地利用の検討をすでにはじめており、区長も「土地取得のためには東京都と話し合う必要がある」と区議会で述べています。

**質問** 都は土地取得にあたって葛飾区と連携・協力し、支援すべきと思いますが、どうですか？

**質問** 「公有地の拡大に関する法律」による自治体の「先買い権」を行使して土地を取得するためには都としても土地利用の目的をもつことが必要です。についてはスポーツ施設が「臨海地区」に偏在している現状を是正するために森永乳業跡地を都立スポーツ施設を設置したらいかがですか？



奥戸総合スポーツセンター運動公園や温水プール、エイトホールにくらべても、かなり大きな広さがあります。

この質問にたいする答弁は、2019年3月に行われます。



←水害に葛飾区民は長年苦しめられてきました。水害対策は、最重要課題です。葛飾区合同水防訓練を視察

# 中川・綾瀬川流域の水害対策を強化せよ

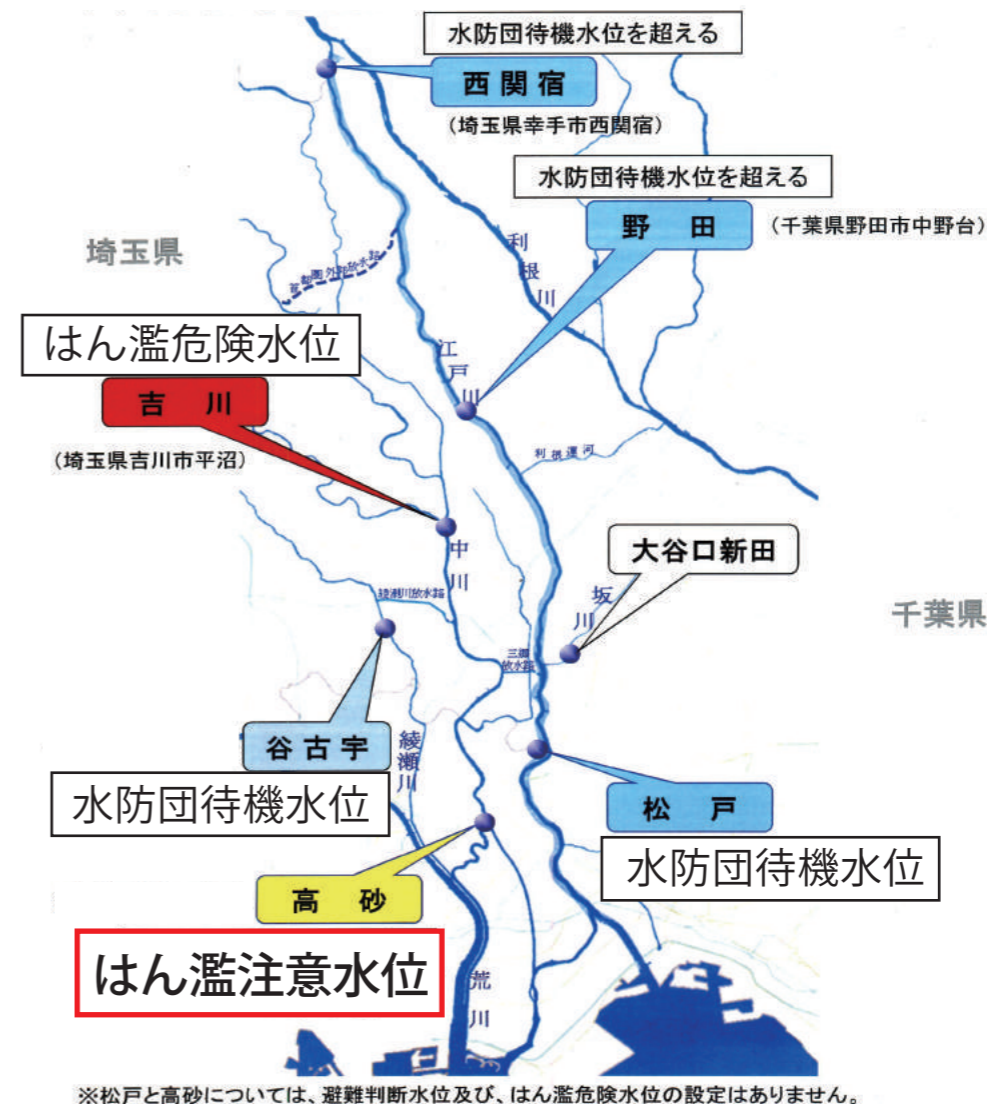
(2018年3月)

葛飾区は2017年10月23日、台風21号による長雨のため中川の水位が上昇する可能性があるとの国交省江戸川河川事務所の判断にもとづき、中川右岸の地域に避難準備を発令しました。

この大きな川にはさまれたお盆のような地形で近年は都市化がすすみ。気候変動による集中豪雨、ゲリラ豪雨も頻発しています。

国は河川と流域の両面から「総合治水対策」を実施している、としていますが……。

中川・綾瀬川流域は江戸川と荒川と



今年の台風21号時の  
中川の水位状況

※松戸と高砂については、避難判断水位及び、はん濫危険水位の設定はありません。

**質問** 「中川・綾瀬川流域整備計画」は暫定10ヶ年計画として策定してから、計画期間の倍近い18年も経っている。新たな計画をつくるべきではありませんか？

**回答** 国土交通省江戸川事務所が、計画の改定にむけて都県や区市町村と協議・調整中です。

**質問** 「中川・綾瀬川流域整備計画」の治水安全度目標は降水量48時間あたり217mmとされているのに、二〇一七年秋の台風21号の降雨量はそれを下回る197mmであった。なぜ避難準備が発令されたのですか？

**回答** 前線の降雨と台風21号の降雨が重なり、中川の中流域から上流域に降水量が多く、その影響により吉川水位観測所の水位が氾濫危険水位まで上昇したものと考えます。

# 京成押上線連続立体化による 高架下の利用について

(2018年9月)



立石駅から青砥駅方面を望む



立体化されれば自由通路ができます



予定地の土地買収がすすんでいます



平和橋通りの渋滞解消は区民の悲願です

**質問** 高架下の利用については、地域住民の要望・意見が尊重されるべきと考えますが、都はどう考えますか？

**回答** 連続立体交差事業により新たに創出される高架下空間は、貴重な都市空間であり、地域のまちづくりの視点から有効に活用されることが重要です。

今後、地元要望を踏まえ「高架下利用計画」を策定していきます。

**質問** 都が葛飾区や京成電鉄と連携して、高架下利用について説明会を開くべきではありませんか？

**回答** 事業の進捗に応じて都が葛飾区および京成電鉄と「高架下利用検討会」を設置して調整をおこないます。葛飾区が把握した住民要望を踏まえ、沿線のまちづくりとの整合や地域ニーズなどを勘案し、都が中心となって「高架下利用計画」を策定していきます。

京成押上線四ツ木・青砥間のうち、立石駅を含む2・2キロの連続立体化事業が行われています。この高架化によって、高架下や周辺にあらたに利用可能となる土地、空間が2万2千㎡以上生まれます。

この連続立体化事業は、事業費用の86%が税金で賄われる公共事業であり、まちづくり事業です。地域住民の声を聞くと、じつにさまざまな要望があることがわかります。

**可能性は  
いっぱい!**  
さまざまなことが  
出来そうですね





水元公園は、都民・区民の貴重な憩いのひろばです

# 水元公園の噴水再開と 菖蒲田の改善をもとめる

2018年9月

水元公園は水郷景観のある都内唯一の都立公園です。豊かな自然と都市型公園の機能を併せもつ。96haの広大な面積をもつ公園です。

メタセコイアの森や水辺などの湿地、バードサンクチュアリ等、植物、鳥類、昆

虫等が豊富で、バーベキュー広場など都市型公園の施設もあります。

水元公園が都民から愛されつづける公園であるために公園管理をさらに充実させる必要があります。

**質問** 今年6月の菖蒲まつりでは13ある菖蒲田のほとんどで花が咲きさいておらず、多くの区民をがっかりさせました。

一方、同時期に菖蒲祭りが行われ

た堀切菖蒲園では見事な花が咲きました。

都として菖蒲田の管理を堀切菖蒲園に学び水元公園の菖蒲田を復活させるべきと思います。

**回答** これまでも花付きの悪いハナショウブの植え替えや、菖蒲田に繁茂しやすい雑草の除去など開花率の向上に取り組んできました。

ひきつづき指定管理者（公益財団法人東京都公園協会）と協力しながら、さらに見応えのある美しい菖蒲田の実現に努めてまいります。

**質問** 噴水広場の噴水が4年以上も止まったままです。公園正面の入り口であり、水元公園を象徴する噴水が見る影もない現状に、多くの区民が噴水の再開を求めています。

**回答** 噴水施設については再開の設計を完了しており、平成30年度および平成31年度に改修工事を実施する予定です。



水元公園調査の参加者と意見交換をする和泉なおみ都議



水の出ないまま放置されている噴水広場



むなしく口だけを開けているカエル型の噴水口